

平成24年度魚食普及貢献者感謝状贈呈者が決定されました。

社団法人大日本水産会おさかな普及協議会は、関係団体より推薦頂いた魚食普及貢献者感謝状贈呈を行う候補者につき、10月29日開催の同協議会普及推進委員会（水産会社・関係法人団体8つで構成）において審議の結果、以下の3名の方々に贈呈することが満場一致で決定されました。感謝状贈呈は、11月27日の本会水産功績者表彰式と同時に行われます。

なお、本感謝状は日本国および地域社会において、正しい食・魚食の啓蒙、水産製品の消費拡大に貢献された方または団体に贈呈をするものです。

以下は本年度の魚食普及貢献者感謝状贈呈者です。（敬称略）

本田 敬一（ほんだ けいいち 63歳）

札幌市中央卸売市場水産協議会 魚食普及委員会委員長

曲々高橋水産株式会社 相談役

- ①北海道内の5大学学生に対し料理教室を開催し、若年層への魚食啓蒙・普及に尽力した。
- ②社団法人札幌消費者協会及び札幌市食生活改善推進協議会を対象とする料理教室の開催を行い、魚食普及に尽力した。
- ③男性高齢者を対象とした料理講習会を開催し、高齢者の健康維持と魚介類の需要拡大に尽力した。
- ④小学生とその保護者を対象に料理教室を開催し、生育期の若者に魚食の大切さを教えるなど、普及活動に尽力した。

小山 智資（こやま さとし 63歳）

神戸水産物卸協同組合 専務理事

- ①魚食普及を目的とした「神戸おさかな普及協会」を設立し、魚食普及に尽力した。
- ②域内施設において、多くの出張料理教室を平成元年～21年まで開催、現在は市場内料理教室を開催し、市場と消費者をつなぐ魚食普及に尽力した。
- ③より幅広く魚食普及を図るため全国に先がけて、料理研究家を講師にしてテレホンサービスを開始し、魚食普及に尽力した。
- ④調理技術継承のため、競技大会や女子大生料理コンクールを、卸共同組合主催で開催し、魚食普及に尽力した。

森田 釣竿（もりた つりざお、本名：森田 暢茂 もりた のぶしげ、38歳）

浦安魚市場 「泉銀」（浦安魚市場協同組合 組合員）

- ①新しい魚食普及の試みとして、音楽やトークイベントを通じて、普及活動に尽力した。
- ②消費者、若者層へ魚食の啓蒙を行うため、ライブハウスや市場、港祭りでのマグロ解体パ

フォーマンスを実施するなど魚食普及に尽力した。

- ③魚食推進有志団体「Re-Fish」に参加、他分野の人たちと協働して、各地における魚食普及活動に尽力した。
- ④生育期・成長期の小中学生を対象とした食育イベントを開催し、魚食普及の啓蒙に尽力した。

(以上)